

古風なひな人形で華やぐ

小谷家で来月24日まで展示

館山

館山市布良の小谷家住 青木繁が「海の幸」を
宅「青木繁『海の幸』記 描いた小谷家は、江戸時
念館」で、同住宅から見 代から続く網元の名家。
つかった歴史を感じさせ 展不されているのは、数
るひな人形の展示が始 年前に納戸から見つかっ
まった。土曜、日曜日開 た4対のひな人形。正確
館で、3月24日まで。 な年代は不明だが、江戸

末期のものと推測されて
いる。

一緒に見つかった江戸
中期から後期制作とみら
れる高砂人形、館山市内
の愛好家らが制作したつ
るしびなも展不されてい
る。

小谷福哲館長は「4月
で開館から丸3年を迎え
る。ひな人形の展示は恒

例となっており、毎年好
評の催し。旧家の中で、
ひなまつりの華やいだ雰
囲気を感じてもらいた
い」と来場を呼び掛けて
いる。

入館料は、一般200
円、小中高は100円。

3月3日には甘酒を無料
で振る舞うサービスを予
定している。



展示されているひな人形＝館山市で